

令和6年度事業報告書（新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等）

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

※表中の人数は観覧者数または参加者数

（1）展示運営更新

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、4月・7月・9月・1月・2月の5回、展示替えした。

（2）企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

「北前船と新潟」展	7/27(土)～9/1(日)	4,063 人
第 21 回むかしの暮らし展「暮らしの環境」	9/14(土)～12/1(日)	8,102 人
「収蔵品展・新収蔵品展」	12/14(土)～1/26(日)	2,947 人
「生誕 260 年の石川侃斎」展	2/8(土)～3/30(日)	1,871 人

（3）教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。

① 体験の広場事業

ボランティアスタッフの協力も得ながら、体験の広場の設備や道具を活用したプログラムのほか、館外での活動も含め、小学生や家族連れ、大人に限定したものなど各種の体験プログラムを計 73 回実施した。

② 博・学連携事業

小学校 53 校・中学校 29 校を受け入れ見学に際し展示解説等を行った。そのほか、学校へ出向いて行う授業を小学校 5 校で実施し、昔の暮らしの道具貸出キットを小学校 3 校に貸し出した。また職場体験・見学では中学校 6 校、小学校 1 校から生徒を受け入れた。新潟大学と連携して開講している寄附講義「ミュージアム論」に学芸員を講師に派遣したほか、同大学の「日本・東洋美術史」にも学芸員を派遣した。大学生を対象とする館実習は、通年および夏休み期間集中の 2 本を実施した。そのほか、教師向けの「みなとびあオープンデー」を実施するとともに、公立中学校部活動の「地域移行」に関連した、文化部活動の試験的受入れを柳都中学校と連携して行った。

③ はじめてみなとぴあ

みなとぴあに来館し親しむ幼児向けプログラム。市内 3 保育園の年長児の保育プログラムに組み込んで実施するとともに、未就学児（年長児）とその保護者を対象としても実施した。3 園向けには計 11 回開催、親子向けには計 4 回開催した。

④ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

博物館講座 全 9 回	4/28(日)、5/26(日)、 6/30(日)、7/28(日)、 8/25(日)、9/22(日)、 11/24(日)、12/22(日)、 2/23(日)	のべ 625 人
歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」 全 3 回	10/6(日)、10/13(日)、 11/10(日)	71 人
館長講座 全 4 回	3/9(日)、3/16(日)、 3/23(日)、3/30(日)	70 人

⑤ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。当年の新規希望者は一般が 9 名、高校生 16 名。全登録者数 169 人。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3 回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体と共催でイベントを開催した。

堀と桜のコンサート	4/7(日)	350 人
みなと・しもまち・川まつり	8/25(日)	雨天の ため中止
夕涼みコンサート	8/31(土)	雨天の ため中止
しもまち早川堀キャンドルナイト	8/31(土)	300 人

② みなとぴあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、以下を実施した。

会員向け企画展鑑賞会	4/13(土)、7/26(金)、 9/14(土)、2/7(金)	各回 5～6人
バスツアー「城下町長岡の江戸から近現代をたどる ―二度の戦災をのり越えて―」	6/16(日)	30人
まちあるき「港町沼垂 埋れた川と堀をたどる」	10/5(土)	20人
館長講演会「世界遺産の島 佐渡は古代から豊かだった ―人口・耕地、国分寺、焼物―」	12/1(日)	21人
学芸員による講座「世界遺産になった『佐渡島の金山の 概要』」	2/24(月・祝)	20人

(5) 調査研究事業

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 21 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業

寄贈の受け入れや購入した歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPM に則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

旧新潟町である現在の古町地区を中心に、「新潟美人」と称されるようになった花街の女性たちと、その活動の舞台である花街について、江戸時代から今日までの経緯を概観した。

「新潟美人と花街」展	4/13(土)～6/9(日)	4,858人
------------	----------------	--------

② 古文書解読上達講座

古文書学習の経験者を対象に上達のコツを教える全 10 回の古文書講座。参加登録者 43 名。

③ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる全 11 回の体験プログラムを実施した。クラブ員 14 名。

④ 大人の体験プログラム

消しゴムはんこ作り	9/7(土)	11 人
-----------	--------	------

⑤ 特別講演会

東京学芸大学特任教授・高松百香氏を講師に、特別講演会を実施した。

「藤原道長を“プロデュース”した女たち ＜望月の世＞は何だったのか」	11/3(日)	94 人
---------------------------------------	---------	------

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として実施。

○ 古町こども研究所

- ・「北前船と新潟」展に関連し、「夏休み！親子新潟みなと歴史探訪」と連動して実施。対象：小学生と保護者 200 名（8/18、8/25、9/1）。
- ・新潟柳都中の歴史文化部の活動と連携し、新潟の街の移り変わりを当館所蔵の絵図・地図から読み解いた。参加者 4 名

⑦ 外部への講師派遣

民間や公民館、その他団体主催の講座・講演会等へ、学芸員を 44 回講師として派遣した。

2 文化施設管理受託事業

○ 歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実に目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置
- ③ 企画展関連物販

企画展「北前船と新潟」展にあわせて、旧小澤家住宅のオリジナルグッズのエコバッグ等を販売したほか、北前船の焼印の煎餅を期間限定で販売した。

※ 令和6年度歴史博物館入館者数 89,442 人